

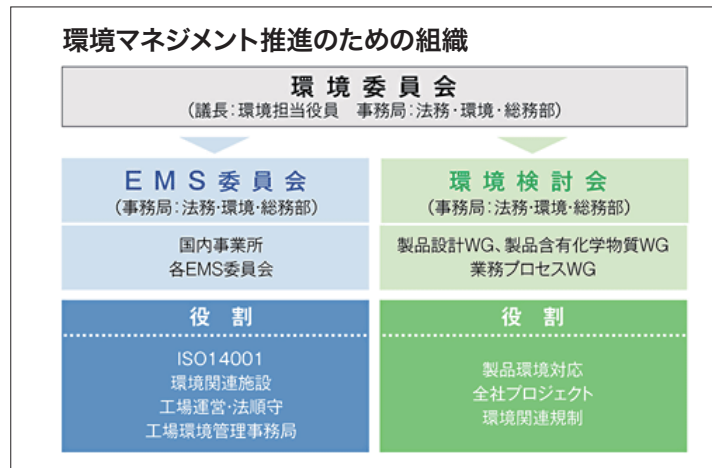
環境戦略とマネジメント

グループの環境マネジメント推進体制

環境マネジメントの推進体制

環境委員会のもとグループ全体でグローバルに環境経営を推進

ブラザーグループでは「ブラザーグループ環境方針」に基づき、地球環境の保全に向けた取り組みをグループ全体でグローバルに推進しています。具体的には、環境マネジメント推進の最上位委員会である環境委員会を通じ、環境担当役員が本社各部門、各事業部門、各機能センターに指示することで方針を決定し、施策を遂行しています。



環境委員会

環境に関する意思決定機関。環境担当役員が議長を務め、各機能センター・新事業・IT・総務に関連する分野の各担当役員以上が参加し、年4回、定期的開催。

▶ブラザー工業ガバナンス体制図

http://www.brother.co.jp/csr/brothergroup/governance/index.htm#org_chart

EMS(環境マネジメントシステム)委員会(事務局:法務・環境・総務部)

本社および日本国内生産拠点で各EMS委員会を管轄。対象施設のISO 14001の運用状況や国内法規制の順守状況などの監視および継続的なレベルアップのフォローなどを行う。

各事業所・主要グループ会社

環境保全活動を推進・管理する責任者を配置。環境委員会が策定した方針・目標の進捗状況や環境管理規程の順守状況を把握・報告する。

環境検討会(事務局:法務・環境・総務部)

製品環境対応・全社プロジェクト・環境関連規制に関する方針や施策などを立案・検討。

ワーキンググループ(WG)

個別のテーマに関して役割を担う専門部会。

- ・製品設計WG: 環境配慮製品設計を推進するための各種基準を検討し、決定する
- ・製品含有化学物質WG: RoHS指令を中心とした、製品に含有する化学物質規制への対応を推進する
- ・業務プロセスWG: グループ全体にわたる環境対応業務と環境情報システム双方の構築を推進する

環境戦略とマネジメント

グループの環境マネジメント推進体制

環境コミュニケーションの推進体制

ブラザーグループは、「ブラザーグループ中期環境行動計画2018」において、「環境スローガン『Brother Earth』のもと、環境ブランドイメージを高める活動に取り組む」ことを環境コミュニケーションの基本方針とし、CSR&コミュニケーション部が主体となってグローバルな各拠点での環境活動を推進しています。

環境マネジメントシステム

ISO 14001にのっとってPDCAを実行

ブラザーグループは中期経営計画に基づき、3年から5年ごとに「ブラザーグループ中期環境行動計画」を策定しています。その計画に沿って、ブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)や各国の生産拠点・販売拠点が単年度計画を定め、事業活動の一環として環境活動を展開しています。計画の進捗状況やパフォーマンス(実績)は、各拠点からの報告や内部監査によってチェックし、その結果を次年度の計画策定に反映しています。

積極的に環境保全活動を行うための「環境マネジメントシステム」を運用するにあたり、法令などの規制や基準を守るとはもちろん、国際標準規格であるISO 14001を活用してPDCAサイクル(Plan:計画、Do:実行、Check:評価、Act:改善)を実行しています。

ISO 14001は、生産拠点では1996年取得のブラザーインダストリーズ(U.K.)Ltd.をはじめ、グループ内のすべての拠点で認証を取得*しています。販売拠点では2005年取得のブラザーU.K. Ltd.をはじめ、多くの拠点で認証を取得しています。

*: 新しく事業所を設立する場合は操業開始と同時にISO 14001に準拠した活動を行い、速やかにISO 14001認証を取得しています。

▶ISO 14001 認証取得拠点一覧およびISO 14064検証受審履歴 http://www.brother.co.jp/eco/facility/iso_14001/index.htm

環境監査

ブラザーグループでは、国内外の生産拠点がISO 14001に従って環境マネジメントシステムを有効に運用し、環境活動を推進できているかをチェックするために毎年、内部環境監査を実施するとともに、ISO 14001環境マネジメントシステム認証の外部環境審査を受けています。

内部監査は、国内拠点においてはブラザー工業の法務・環境・総務部が、海外拠点については各拠点の環境担当部門が担当し、関連法規制への適合性、年間計画の進捗状況、環境マネジメントシステムの有効性、ISO規格への整合性などを点検しています。不適合事項などは直ちに是正措置をとり、フォローアップ監査により効果を確認しています。国内の監査結果は、法令順守状況やパフォーマンス(実績)とともに「環境委員会」で報告しています。毎年の環境監査ではPDCAが確実に回っていることが確認され、重大な事故・指摘事項のない状況が継続できています。

外部審査では、ブラザー工業が「2014愛知環境賞」の金賞を受賞*したことに、ストロングポイントとしての評価を頂きました。

*: 製品の待機電力の大幅な削減を実現した低待機電力技術「グリーンスタンバイ」をはじめとする環境負荷低減に配慮したモノ創り技術や、各国の規制に対応した管理基準を達成するための独自の環境情報システムの構築など、ブラザー工業の社会的な貢献度と環境経営の実績が高く評価されました。

▶「2014愛知環境賞」で金賞を受賞 http://www.brotherearth.com/ja/news_detail/766.html

従業員への環境教育

ISO 14001 認証を取得しているブラザーグループの各拠点では独自の教育プログラムに基づき、従業員全員を対象にした環境教育、特定の業務・役割に応じた階層別教育を実施しています。

また、入社時に実施する新入社員全員への環境教育、e-ラーニング等による全従業員を対象とした環境教育、国内・海外生産拠点の生産・調達担当者に対する製品含有化学物質管理ならびに調達先での工程管理指導・監査に関する教育など、環境意識の向上と業務遂行の両面から必要な環境教育を定期的実施しています。